

FMEAは道具ですので**使い方が重要**です。未然防止に役立てるには、未然防止に役立つようにFMEAを考え、議論し、シートを作成し、活用していくことが重要です。本セミナーでは**未然防止の観点からFMEAの具体的な活用方法を説明**します。

～教科書では分からない実務での**注意点・ポイント**を詳解！～

未然防止のための設計 FMEA の実践ポイント・ノウハウ

講師：CS-HK 代表 上條仁氏

品質技法コンサルタント。FMEA・DRBFM、FTA、QFD（品質機能展開）などを活用した未然防止や品質向上、発明的問題解決手法（TRIZ）、ISO9001、IATF16949を専門とする。1983年（株）日立製作所入社。半導体設計開発に従事した後、半導体グループ品質信頼性保証本部にてISO/TS16949（現IATF16949）を認証担当兼**全社品質改善活動担当**として品質機能展開等の日立全社での普及・展開活動を推進する。2002年（株）日立製作所退社し、CS-HK設立。大手企業を中心に品質技法コンサルタントとして活動中。著書には『本気で取り組むFMEA』（日刊工業新聞社）、『本当に役立つTRIZ』（日刊工業新聞社・共著）、『常識をくつがえすものづくり発想法講座』（工学研究社・共著）がある。

●日程 2023年12月6日（水）10:00～17:00

●会場 東京 ※都内中心部で調整中。詳細はWebページをご覧ください

<こんな方にオススメです>

- ✓ FMEAが上手くいかないと悩んでいる方
- ✓ 現在のFMEAが認証や顧客対応だが、未然防止にも活用したいと考えている方
- ✓ 未然防止のFMEAの考え方やコツを確認（復習）したい方

<学べること>

- ✓ FMEAの実践での**注意点・ポイント・ノウハウ**
- ✓ FMEAを未然防止で役立てる**コツ**
- ✓ FMEAで効果が得られない原因と**対処方法**
- ✓ FTAとの違い
- ✓ DR（デザインレビュー）での**有効活用**

<プログラム>

I. FMEAの考え方、未然防止活動とは

1. 本来の未然防止とは
2. 未然防止の区分け
 - a. 問題解決と再発防止
 - b. 故障予測
3. FMEAが上手くいかない理由と事例
 - a. 何のためのFMEA
 - b. 何故やるのか
 - c. 目的がはっきりしていない
 - d. 活用できていない

II. FMEAの基本的な進め方

1. FMEAの前後
2. 有効な道具とその使い分け
 - a. 品質表
 - b. 信頼性ブロック図
 - c. 機能図など
3. 効率的な未然防止活動の実施時期とは
4. 的を射る（重点化実施する）ためには
 - a. 狭く深くやる方法
 - b. 品質表の活用方法
5. きっかけ（インプット）の明確化のために
6. 設計FMEAの作成
 - a. 設計FMEAと工程FMEA
 - b. FMEAの作成手順
 - c. 効率良いFMEAの作成とインタビューFMEAの導入

III. FTAとの違い

1. FMEAとFTA
2. FTAの活用によるFMEAの効率アップ

IV. DR（デザインレビュー）での有効活用

1. DRの本来の姿とは
2. DRに対する誤解（
3. DR分類と明確化について
4. DRの効率化による未然防止の有効化

V. 事例紹介

1. FMEAの重点化事例
2. おかしなFMEA事例

<講義概要>

事故や不良が起きるたびに「FMEAの徹底」や「未然防止活動の実施」といったことが言われます。しかし、FMEAを、本来の意味や目的を意識しないまま、単に「顧客対応のため」「DRで必須となっているから」といった理由で実施しても、効果はそれほど期待できません。不良や事故を未然防止するためには、FMEAの本来の使い方を理解したうえで、効率よく実施することが重要です。

本講座では、FMEAの本来の意味・目的、基本的な使い方といった基礎的なことから、効果的な実施法、DRでの活用法、事例紹介（研究）など応用的なことまで、要点をまとめ分かりやすく解説します。FMEAを始めたばかりの方や、導入を検討している方は、基本事項を学び自社での取り組みに活用してください。また、すでに実施している方は、自社のやり方と比較しながら、効率的な実施方法やコツの発見に役立ててください。

＜お申込要項＞


FAX
03-6261-7924

下記に必要事項をご記入の上、FAXにてお申込みください（※は必須です）

申込講座	2023/12/6 未然防止のための設計 FMEA の実践ポイント・ノウハウ		
会社名※			
所在地※ <small>（請求書等の送付先）</small>	〒		
参加者①	氏名※		TEL※
	所属※		FAX
			役職
	Email※		@
会員登録	<input type="checkbox"/> 登録する <input type="checkbox"/> 登録しない <small>（登録料・会費はかかりません。お得な割引や会員イベント情報等を配信します）</small>		
参加者②	氏名※		TEL※
	所属※		FAX
			役職
	Email※		@
会員登録	<input type="checkbox"/> 登録する <input type="checkbox"/> 登録しない <small>（登録料・会費はかかりません。お得な割引や会員イベント情報等を配信します）</small>		
支払方法※	<input type="checkbox"/> 銀行振込（紙請求書） <input type="checkbox"/> 銀行振込（PDF請求書） <input type="checkbox"/> カード支払い <input type="checkbox"/> 未定のため後日連絡する		
支払予定日※	<input type="checkbox"/> [] 月 [] 日ごろを予定している <input type="checkbox"/> 未定のため後日連絡する		
備考※			

お申込について

① 以下のいずれかの方法でお申込みください

A	FAX	上記に必要事項をご記入の上、送信ください
B	E-mail	送信先： entry@tech-d.jp メール本文に＜①【申込講座】 ②【会社名】 ③【所在地】 ④【氏名】 ⑤【所属】 ⑥【Email】 ⑦【TEL】 ⑧【支払方法】、⑨【支払予定日】＞をご記入の上、ご送信ください
C	Web	https://tech-d.jp/ の各講座のページからお申込みください

② お申込受付後、受付完了のご連絡（メールまたはお電話）をいたします

③ 請求書等をお送りいたします

＜注意＞

① お申込後 1 週間たっても受付完了の連絡がなかった場合は、お手数ですが、弊社までご連絡ください

② 開催日の 7 日前以内のキャンセルはお受け致しかねます。必要に応じ代理の方のご出席をお願いいたします

お支払について

＜期日＞

受講料は講習会開催日の翌月末日までにお支払いください

※期日まで間に合わない場合は、対応いたしますのでご一報ください

＜方法＞

① 銀行振込（振込手数料は御社にてご負担願います）

② クレジットカード（支払方法はメールでご案内します）

【お振込先】

振込先銀行	三井住友銀行
支店	多摩センター支店（909）
口座番号	（普）0973522
名義	株式会社テックデザイン

主催 申込・問合せ	名称	株式会社テックデザイン（ http://www.tech-d.jp/ ）		
	住所	〒102-0074 東京都千代田区九段南 3-9-14 九段南センタービル 5 階		
	電話	03-6261-7920	FAX	03-6261-7924
	E-mail	entry@tech-d.jp（申込） / info@tech-d.jp（問合せ）		